



観光霧島の取組は

前田 幸一 議員

問 景気の上向きが少し見えてきたが、全国和牛能力共進会に向けてどのような観光客誘致への取組があるのか。

答 「第12回全国和牛能力共進会霧島市おもてなし推進協議会」において、経済効果を高める取組や本市の特産品の販売、各種PR等を行う「霧島産品特設市場」を霧島高原国民休養地内に設置する。市内の公共施設・宿泊施設等のタッチパネルやスマートフォン等で、観光情報や特産品等の紹介を行う。



前回の全国和牛能力共進会宮城大会の様子

問 総合支所長は、「霧島市組織及び事務分掌等規則」において、事務の遂行を図り配属職員を指揮監督する。また、総合支所管内における地域住民の最も身近な行政サービスのトップとして、重要な役割を担っている。

答 総合支所長は、「霧島市組織及び事務分掌等規則」において、事務の遂行を図り配属職員を指揮監督する。また、総合支所管内における地域住民の最も身近な行政サービスのトップとして、重要な役割を担っている。

問 総合支所長の具体的な権限・役割はどうか。



答 当院では、乳腺疾患、特に乳がんを対象とした乳腺外来を実施している。新病院の診療科は24科とし、乳腺外科診療を行う計画だ。産科や婦人科等の開設には、医師確保が困難と判断し、見



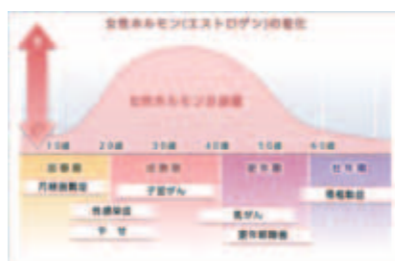
女性検診と市内での手術、治療環境について

平原 志保 議員

問 女性検診で病気が見つかった場合、市内での手術、治療等ができる医療機関の現状はどうか。

答 検診で精密検査を要すると判断された場合、市内対応医療機関は、産婦人科2院、乳腺外来等3院ある。その後の手術、治療等の詳しい現状は把握していない。

送った経緯がある。婦人科等の開設は、市民からの要望もあり、地域完結型の医療体制の構築を目指すという観点からも、重要な課題である。今後、県や始良地区医師会等と連携を図り、開設の可能性を検討したい。



問 霧島市立医師会医療センターにおける婦人科系治療の将来性はどうか。



問 霧島市立医師会医療センターにおける婦人科系治療の将来性はどうか。

答 昭和63年に分譲を開始し、令和4年4月1日現在13社の企業が操業しており、全体で892人が働いている。令和3年度税収は、1億5,200万円。工業用水の水源は、国分上之段の株式会社トヨタ車体研究所の北側約400mにある。



上野原工業団地テクノパークについて

下深迫 孝二 議員

問 上野原工業団地操業開始時期と企業数、従業員数は何名か。また同工業団地での税収額と工業用水の水源はどこか。

答 昭和63年に分譲を開始し、令和4年4月1日現在13社の企業が操業しており、全体で892人が働いている。令和3年度税収は、1億5,200万円。工業用水の水源は、国分上之段の株式会社トヨタ車体研究所の北側約400mにある。

何社の企業がこの水道を利用しているか。

企業の受給者においては日常生活における生活用水としての役割を、企業においては産業活動維持発展の役割を担っていると考える。また6社の企業が水道を利用している。

問 上野原工業団地テクノパークについて

その他の質問



災害対策について

池田 綱雄 議員

問 市内の避難所は何箇所か。安心安全な場所にあるか。

答 1次避難所71箇所、2次避難所36箇所、福祉避難所8箇所、津波避難場所5箇所の計120箇所を避難所として指定している。災害時には、その災害の種類に応じた安全な避難所を開設している。

になったと聞いたが、状況はどうか。

答 フレスポ国分入口付近は、しらさぎ橋開通に伴い交通量が増加している。横断歩道については霧島警察署に新設を要望している。本年度中の設置に向けて検討していることである。



フレスポ国分周辺の道路

問 新川北線の開通により交通量は増え、沿線には次々に大型店が開店している。自衛隊正門から県道60号の交差点までは買い物客等の横断が増え、危険な状況にある。昨年の9月議会の質問後に横断歩道を設置すること

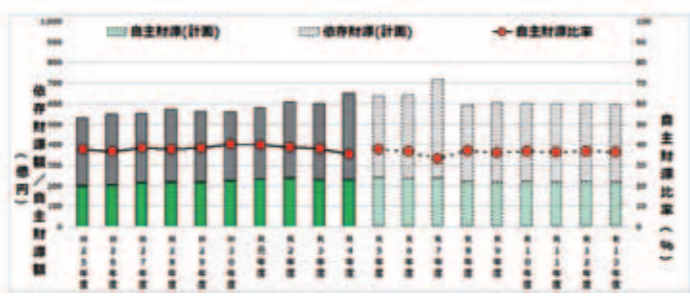


財政体質の改善を

宮田 竜二 議員

問 本市の財政構造の特徴として、市税をはじめとする自主財源の割合が約4割と低く、地方交付税や国、県からの支出金などの依存財源に頼っている。本市独自の施策を予算化しにくい現状を把握しているにもかかわらず、第4次計画及び財政計画参考シミュレーションでの自主財源比率の予測は、4割に満たない数字になっている。今の財政体質を改善しようとする考えはないか。

答 鹿児島県の賃金水準が低いため、個人市民税割合の引き上げは難しい。市有施設の使用料・手数料の見直しや、市有財産の活用などを全庁的に推進することにより、自主財源及びその比率の



その他の質問
・DX推進課の本年度の活動計画について



市街地の更なる安心安全対策を

松下 太葵 議員

問 市街地に24時間使えるAEDの設置はできないか。

答 「霧島市AED設置に関する方針」を定めている。施設の利用及び地区住民等の生命の安全確保に配慮するため、最低1台のAEDを設置することとしており、公共施設への設置は、6月1日現在で228台である。そのうち24時間使用できるものは、国分シビックセンターを含め15台である。市街地では、市民サービスセンター「コア・よか」に設置している1台が、21時まで使用できる。今後AEDの普及と利用方法の周知など促進を図る。



屋外に移設したAED(三重県津市)

問 国分児童体育館前市道の整備進捗と今後の計画はどうか。

答 県道国分霧島線から広瀬部消防詰所まで、延長250mの側溝整備を計画し、令和3年度までに延長90mを施工した。残りの区間も計画的に整備を進めていく。

